

【授業科目】助産診断・技術学Ⅰ（妊娠） Midwifery Diagnostics and Technique I

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
野内 香純、日比 千恵、高塚麻由	4年次前期	選択	2	30	講義	あり	巻末掲載	否
授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する フィードバック 方法	授業概要／妊娠期の助産ケアでは安全で満足される出産体験につながるような妊娠期の診断とケアができるように講義・演習をとおして学ぶ。妊婦及び胎児の正常経過とその逸脱を学び、身体的・心理的・社会的状態をアセスメントし良い助産ケアができるよう助産過程を展開できる能力を養う。講義・演習形式で、教科書を用いるとともに適宜資料を配付して行う。 ハイリスク対象者への支援と助産師の役割について学ぶ。 課題に対するフィードバック方法／提出されたレポートやシミュレーションセッション時に講評を行う。							
実務経験に関する授業内容	産科領域の臨床経験を持つ教員が、助産師として対象妊婦とその家族の状態をどのようにアセスメントし、支援していくかについて、視聴覚教材や経験を交えながら授業を進める。							
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー①「看護の専門性と責務を自覚するとともに、地域に住むあらゆる健康レベルの人々に専門的知識と技術に基づき看護を実践できる」の達成に寄与している。							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	① 妊婦及び胎児のケアに必要な身体的・精神的・社会的基礎知識を述べることができる。 ② 妊娠期にある妊婦の正常経過及び逸脱した状態への助産過程を展開できる。 ③ 安全な出産を目指して妊婦へ必要な健康教育及びセルフケアへの支援ができる。 ④ ハイリスク対象者への支援について考えることができる。 ⑤ 妊娠期に必要な助産技術が実践できる							
時間外学習に必要な内容・時間	【事前学習】 第1～15回：母性看護学概論、母性看護援助論Ⅰ・Ⅱ、母性看護学実習の関連項目の復習(各60分) シミュレーションセッションに必要な課題の学習 (各60分) 【事後学習】 第1～15回：学習した内容を教科書で調べなおし、自己学習ノートにまとめる。ノートは助産学実習で使用できるように工夫して作成すること。(120分) ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。							
授業計画	第1回 妊娠期における助産のケアとは 妊娠期の心理的・社会的状態の診断とケア 第2回 妊娠の診断・時期診断・経過診断とケア 第3回 出産準備への支援 第4回 妊娠期の女性への支援：出産に向けた準備 第5～6回 正常から逸脱した状態への診断とケア ハイリスク妊娠、妊娠合併症、その他 第7～8回 妊娠経過のアセスメントとケア①② 情報収集とアセスメント・推論 グループワーク 第9回 妊娠経過のアセスメントとケア③ アセスメントの検証と支援内容検討 グループワーク 第10～11回 妊娠経過のアセスメントとケア④⑤ 発表、振り返り グループワーク 第12～13回 妊娠経過のアセスメント⑥⑦ シミュレーションセッション（ハイリスク妊娠、妊娠合併症を有する妊婦へのケア） グループワーク 第14回 ペリネイタル・ロスのケア 第15回 助産診断・技術学Ⅰのまとめ	第1～2回 日比 第3～6回 野内 第7～11回 日比、野内、高塚 第12～13回 野内、日比、高塚 第14～15回 野内						
評価方法 評価基準	定期試験 70%、事前・事後学習内容を含むシミュレーションセッション内容の助産過程、まとめ 30%							
教科書	1. 『助産学講座6助産診断技術学Ⅱ[1] 妊娠期』我部山キヨ子他編、医学書院 2. 『基礎助産学[4]母子の心理・社会学第5版』我部山キヨ子他編、医学書院 3. 『胎児心拍数モニタリング講座、改訂4版』藤森敬也、メディカ出版 4. 『今日の助産 改訂第4版』北川真理子他編著、南江堂 5. 『改定23版 最新産科学、正常編』荒木勤 文光堂 6. 『改定23版 最新産科学、異常編』荒木勤 文光堂 7. 『助産師基礎教育テキスト第7巻、ハイリスク妊娠褥婦・新生児へのケア』遠藤俊子他編 2024年版 日本看護協会出版会				参考書等	・『助産師基礎教育テキスト第4巻、妊娠期の診断とケア』森恵美他編 日本看護協会出版会、2024年版 ・『産婦人科診療ガイドライン産科編2023』日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会編集 ・『助産外来の健診技術』進 純郎 医学書院		
学生への助言等	この授業は母性看護援助論Ⅱをさらに深めた知識・技術・態度が求められます。十分事前学習を行い、授業に前向きに臨んでください。またシミュレーションセッションでは、助産実践に必要な判断力・実践力を高められるように、チームメンバーでディスカッションをしっかりと行っていきましょう。							